

## 特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。  
問合先 農林水産課

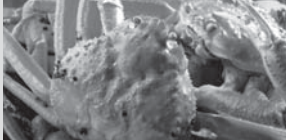


### ③① 福井県敦賀市



▶平成29年7月19日、  
淵上隆信 敦賀市長（右）  
と協定を締結

#### 敦賀市の特産品



越前がに



おぼろ昆布



敦賀ふぐ



東浦みかん



ソースカツ丼



甘えび

- 面積：251.41km<sup>2</sup>
- 人口：66,109人・28,636世帯（平成30年7月31日現在）
- 市の花：はぎ ●市の木：まつ ●市の鳥：ユリカモメ

敦賀市は、福井県南西部（嶺南地方）の敦賀湾に面する市で、昭和12年に「敦賀町」と「松原村」が合併して市制を施行、昭和30年に近隣5カ村を編入合併し、現在の「敦賀市」となりました。

日本海側に面する港町で、日本三大松原の一つに数えられる気比の松原は、敦賀湾の最奥部に位置し、海とのすばらしい景観を織り成しています。

特産品は、おぼろ昆布やかまぼこなど、海産物を利用した食品加工業が盛んで、おぼろ昆布のシェアは全国の80%以上を占めています。

また、海の幸としては、日本海の荒波にもまれた「敦賀ふぐ」や冬の味覚の王様「越前がに」が有名です。

敦賀市の伝統野菜としては、杉箸アカカンバ、黒河マナ、古田苳かぶらがあり、果樹としては、東浦みかんが栽培され、みかんビール等が製造され、農業と福祉が連携する初の試みとして、「農福連携サポート事業」にも取り組まれています。

敦賀市は、「世界をつなぐ港まち みんなで拓く交流拠点都市敦賀」を将来像としてまちづくりを進めています。



- 面積：21.03km<sup>2</sup>
- 人口：83,335人・34,925世帯（平成30年7月31日現在）
- 市の花：ひまわり ●市の木：くすのき

尾張旭市は、愛知県の北西部に位置し、昭和45年12月1日に市制施行しました。平成16年には、WHOが提唱する、人もまちも健康にする「健康都市」の取組に賛同し、健康都市連合に加盟しています。2019年6月2日開催の第70回全国植樹祭は、尾張旭市域内にある愛知県森林公園をメイン会場とし、尾張旭市では様々な関連イベントやPRなどを実施しています。

特産品は、美容と健康に良いと言われる絶品の「朝採り完熟いちじく」、ケールと芽キャベツを交配して生まれた新野菜の「プチヴェール」です。愛知県はいちじく生産が日本一であり、特に尾張旭市では、都市近郊を利用して、朝採りした甘みが最高の状態の完熟いちじくを提供しています。また、「プチヴェール」は食物繊維、カロテン、ビタミンCが豊富で、学校や保育園の給食に提供されるなど、健康都市尾張旭の食育の推進に貢献している野菜です。

尾張旭市は、「みんなで支えあう緑と元気あふれる住みよいまち尾張旭」を将来像として、都市の利便性と自然豊かな環境が調和し、すべての人々が笑顔で元気に暮らせる活気あるまちづくりに取り組まれています。



### ③② 愛知県尾張旭市

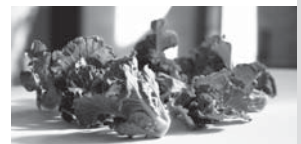


▶平成29年8月24日、  
水野義則 尾張旭市長  
（右）と協定を締結

#### 尾張旭市の特産品



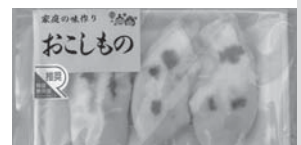
いちじく



プチヴェール



いちっこ



おこしもの



棒の手ビール



あさぴークッキー